

# 「女子大のとびら」

群馬県立女子大学 ☎65-8511

## バス高速輸送システムと学生寮を 一県女を去るにあたって

群馬学センター 教授 熊倉 浩靖

昨秋の県議会で、大澤知事は高崎駅から太田・館林に向かうBRT（バス高速輸送システム）検討への意欲を示された。新しい国道354号線にバス専用レーンを設けて、高崎駅東口と玉村、さらに東毛各地を結ぶ計画である。

群馬と言えば「自家用車大国」と言われ、自家用車への過度の依存は二酸化炭素の排出量を増やし、必要以上の買い物を促してごみ排出量ワースト1を招いているとさえ揶揄される。

しかし元々は、群馬は公共交通の先進県だった。高崎線は実質的に日本で3番目に開かれた鉄路であり、両毛線も東武鉄道も次々と整備されていった。生糸を横浜に運ぶことが最重要国策の一つだったからだ。

そして現在だが、ここで次の飛躍に挑戦したいものだ。国道354号線をはじめ県土7つの交通軸が完成に向かっていて。そこに低コストのBRTを導入すれば、通勤・通学・通院・購買の利便性は格段に上がる。県土の中心に位置しながらどのJR駅からも遠い玉村の受ける恩恵は大きい。

この改善は、わが県立女子大学にとって特に重要である。全国から本学をめざす学生にとって交通条件の悪さは一つの壁となっている。通学やバイトでの交通費が生活を圧迫し学習時間も減る。すぐに免許を取得し、車を買って維持しなければならない。

加えて言えば、留学生会館も兼ねた学生寮が欲しい。学生が心身を鍛えコミュニケーション能力を高めるためには集団生活は重要な要素だ。本学は世界各地の大学と提携関係を持っているが、留学生会館がないため、希望する留学生を受け入れられていない。留学生と日本人学生が共同して暮らす空間が設置されれば、相互理解は進む。玉村から世界の平和が構築される。世界の指導的女性たちが玉村をふるさと思う。日本人学生も日本と群馬の真の文化を玉村で会得する。

BRT（バス高速輸送システム）と留学生会館も兼ねた学生寮は、玉村と県女の未来をより明るくする。県が進めているコンベンションの基盤をも確実に形成する。

県女を去るに当って、玉村町と県、そして県女に一つの願いを捧げたい。

# 住民自治のまちづくり

経営企画課  
☎64-7711

## 自治まちづくり広場を開催します

玉村町のまちづくりを担う皆さんを対象に、年度当初に平成30年度の町政の基本方針をお話しするとともに、まちづくりへの思いを共有していただく企画です。

今回は、さまざまな方面からまちづくりを行っている、NPO法人じゃんけんぽん理事長の井上謙一さんをお迎えして、ご講演いただく予定となっています。また、県立女子大学の学生にご提案いただいた「玉村町の活性化」などのプランを発表していただき、さらには平成29年度に実施した「協働によるまちづくり提案事業」の報告会も行います。どなたでも参加できますので、ぜひご来場ください。



**日時** 4月15日（日）午後1時30分～3時30分

**場所** ふるハートホール

**内容**

- ・町政運営の基本方針について：町長
- ・講演：NPO法人じゃんけんぽん理事長 井上 謙一さん
- ・玉村町活性化プランコンテスト表彰と発表
- ・平成29年度協働によるまちづくり提案事業報告会

○玉村制服リユースバンク

○まちの案内人

○玉村町の魅力見つけ隊！

**主催** 経営企画課 生涯活躍推進係